



毘沙門遺跡・・・古墳時代終末期の集落

先屋敷古墳群  
・・・古墳時代終末期の墓域

## 遺跡の紹介

本遺跡が所在する笛吹市境川町石橋地区は、境川によって形成された境川扇状地の上にあります。石橋氏屋敷跡・先屋敷古墳群の発掘調査は2024年10月から2025年2月まで実施しており、様々なものが見つかりました。調査面積は700㎡です。今回の見学会ではその成果の一部を紹介します。

## 周りにはほかにも遺跡があるの？

遺跡の西側（三柵熊野神社の横）には下向遺跡があります。石垣の周囲からは祭祀に使われた可能性のある平安時代の土器が見つかりました。  
また、東側には今回見学会が同日開催される毘沙門遺跡があり、先屋敷古墳と同時期の古墳時代終末期の集落跡が見つかりました。

先屋敷古墳群と毘沙門遺跡はどちらも古墳時代終末期の遺跡です。  
墓域と集落という異なる遺跡が同時にみられる貴重な機会です。

## 遺跡ってなに？

昔の人々の生活の跡です。集落、田畑、墳墓、堤防など様々な種類があります。遺跡から出てくる土器や木製品や古銭などの動産は「**遺物**」、住居跡や溝跡や礎石などの不動産は「**遺構**」と区別されます。

## なぜ発掘調査をするの？

遺跡のある場所ではリニア中央新幹線の本線工事が予定されています。工事を始める前に、遺跡を調査して遺構や遺物などの情報を図面に描いたり、写真を撮ったり、地層を観察するなどして記録します。これを**記録保存**といいます。調査成果は発掘調査報告書としてまとめられ、いつでも遺跡の内容を知ることが出来ます。

## 石橋氏屋敷跡ってなに？

調査区周辺には石橋八郎信継の館があると伝わっています。信継は武田氏の祖である武田信義の孫とされている人物です。事績や居館について詳細は不明ですが、親族の生没年から12世紀前後の人物といえます。調査では館に直接関係するものは発見されませんでした但同时代の遺物が出土しています。

## 先屋敷古墳ってなに？

1号墳は直径約30m、2号墳は直径約8mで群集墳を構成しています。2基の古墳は出土品の年代からいずれも古墳時代終末期の7世紀頃の築造と考えられます。境川地域における同時期の古墳の石室を含めた調査事例は今回が初となります。群集墳のため今回調査された2基のほかにも、周囲には同様の古墳が存在する可能性があります。

遺跡 集落・田畑・墓域・城跡など

### 遺構

住居跡・土坑  
柱穴・かまど  
墓・井戸・道  
集石・礎石・畦畔  
石垣・土塁など

### 遺物

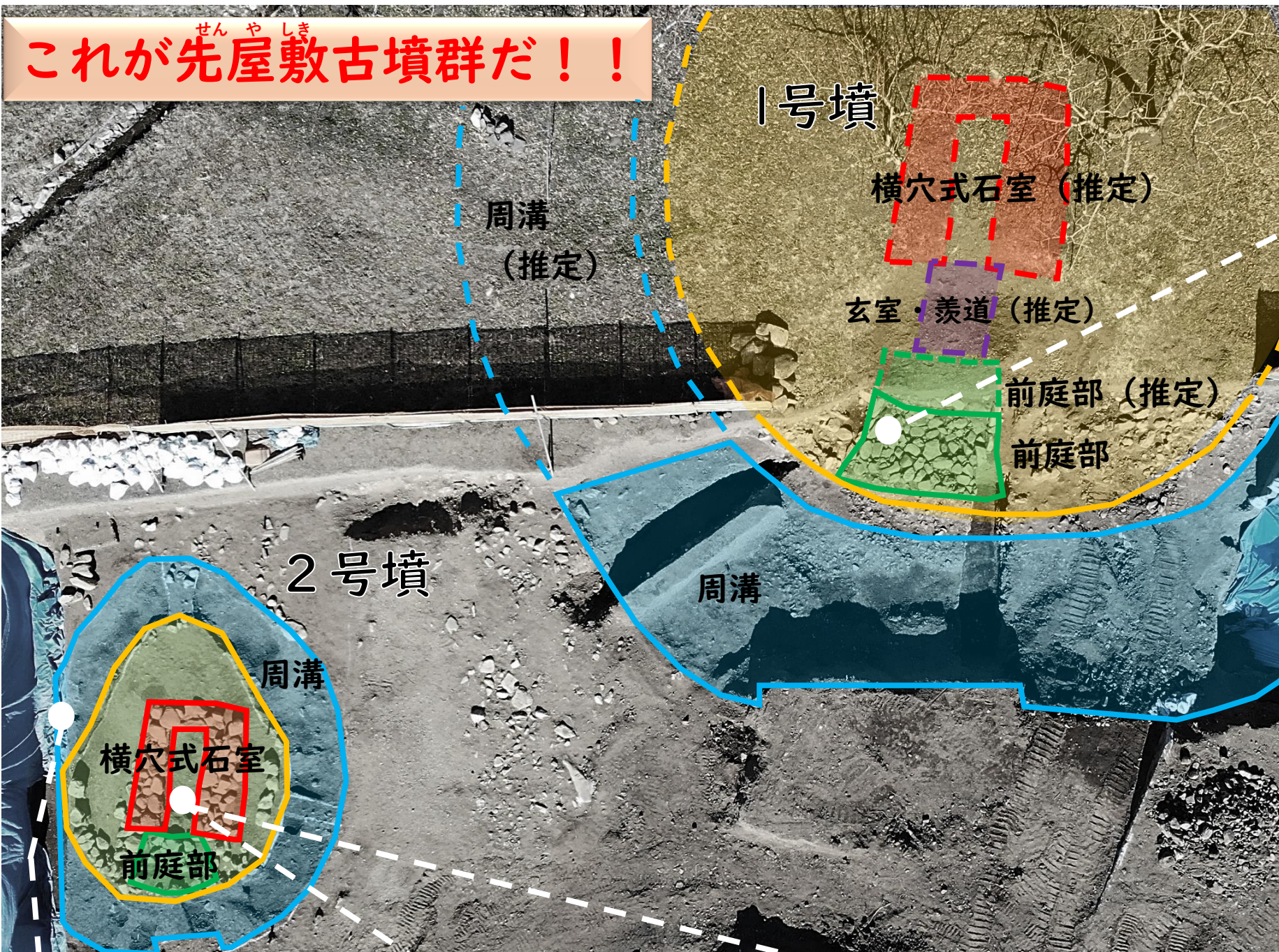
土師器（野焼き）  
須恵器（窯焼）  
陶器・磁器・瓦器  
木製品・石製品  
金属製品など



↑遺構を調査している様子。  
いろいろな道具を使って遺物に気を付けながら慎重に掘り下げていきます。

裏を見て、古墳をもっと知ろう！





これが先屋敷古墳群だ！！



前庭部から出土した須恵器の破片と長頸壺（7世紀）

1号墳



その1 古墳の全容が見れる貴重な機会！

古墳の調査は部分的なものが多く、丸ごと発掘されることはあまり多くありません。

その2 1号墳と2号墳の大きさを比較！

1号墳と2号墳では周溝の幅や前庭部の規模、使用されている石材の大きさが異なります。

その3 掘り出されたままの土器がみれる！

用語解説

横穴式石室…6世紀に導入された埋葬施設。遺体や副葬品を安置する部屋。後から追葬が可能。開口部は南向きが多い。

周溝…古墳の周囲にめぐる溝。

前庭部…墓前祭祀を行う場所。ハの字に開くことが多い。

土師器…野焼きの土器。赤褐色。

須恵器…朝鮮半島由来の窯焼きの土器。青灰色。

2号墳

坏や甕（7世紀）



鉄刀（時期不明）



調査後、錆の除去やX線を用いて形状の特定をします。

「南」の墨書土器（平安時代）



「南」の墨書の意味については、今後検討していきます。

※資料に記載されている内容は、今後の調査や分析によって変更となる場合があります。